

第1部 ライチョウの生息地での取り組み 座長 中村浩志（一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所）

○司会 第1部ライチョウの生息地での取り組みのセッションを開始いたします。
座長は一般財団法人中村浩志国際鳥類研究所、信州大学名誉教授の中村浩志先生です。
それでは、先生、よろしくお願いします。

○座長 皆さん、おはようございます。
ライチョウ会議ぎふ大会2日目は、ライチョウフォーラムということで、ライチョウの生息現地での研究成果と保護活動及び、動物園での飼育と大学等での飼育に関する研究成果について発表する場です。

今日の午前中はその第1部ということで、生息現地、高山の生息現地で行なっている研究成果と保護活動について計4名の方々に5題のテーマについて発表いただきます。

発表は、20分の発表と25分の発表があります。発表者の皆さんは、発表の時間以内に質問時間を取っていただけたらと思っております。最後には、10分間の総合討論の時間をとりたいと思っております。

今回は、発表の終了時間を知らせるということはありませんので、発表者の皆さんは時間を厳守して、よろしくお願いします。